

市長記者会見 趣旨

「熊本城復旧基本計画の検証状況について」

- 熊本城復旧基本計画は、策定から5年を迎えることから、これまでの復旧事業で見えてきた課題を踏まえ、当初20年と設定した計画期間を含め見直しを進めている。
- 大きな課題としては、石垣の復旧方法の検討に時間を要していることが挙げられる。
- 熊本城の石垣の復旧は前例のないものであり、今後全国の石垣にも影響を与えると考えられることから、学識者の皆様にしっかりと御審議いただきながら、工法の検討を進めているところ。
- 計画期間については、第2回熊本城復旧基本計画検証委員会において、御審議いただく予定だが、事務局からは、このような課題を踏まえ、次のとおり提示させていただきこととしている。

① まず、計画期間の15年目(2032年度)には、宇土櫓と本丸御殿という、2つの主要な建造物が復旧する予定としている。

そして、計画期間の25年目(2042年度)には、すべての重要文化財建造物の復旧と震災以前の有料区域である市長記者会見趣旨主要区域の復旧が完了する予定としている。

② 主要区域の復旧完了後の10年間は、特別見学通路の撤去後の石垣工事や、主要区域以外の工事を行いながら、復旧後の新たな整備計画の検討なども並行して進めていくこととしており、さらなる未来へ向けて、復旧から整備へと軸足を移していくための期間としている。

なお、今後、さまざまな社会環境の変化も予想され、また、復旧工事を通じて得られた新たな知見や技術を取り入れられる可能性もあることから、5年ごとに評価と検証を行ってまいります。

③ 復旧には長い年月を要するが、特別見学通路をはじめ、石垣や建造物の復旧状況を御覧いただき取組を継続して行うとともに、復旧過程における新たな発見などもお知らせしながら、熊本城の文化財的価値と安全性をさらに高めていく期間としたいと考えている。

④ 慎重かつスピード感をもって復旧を進めたい。

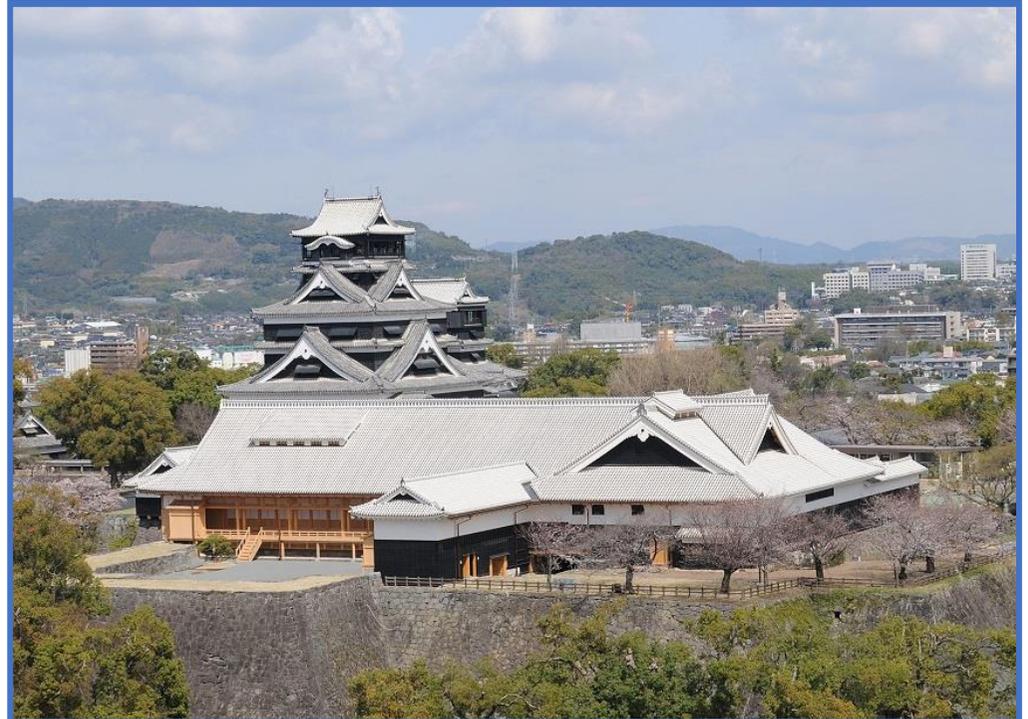
熊本城復旧基本計画の検証について

第2回「熊本城復旧基本計画検証委員会」において下記の検証結果を報告し、**審議予定**

2032年度
宇土櫓、本丸御殿の復旧完了



宇土櫓



本丸御殿

熊本城復旧基本計画の検証について

2042年度

全ての重要文化財建造物 及び 主要区域の復旧完了



※ 令和4年（2022年）11月22日 市長定例記者会見で使用